

大島校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時 平成23年7月9日(土) 10:30～
場所 大島公民館
参加者数 男 37人 女 19人 合計 56人



1. 新居浜市連合自治会設定共通課題

課題名 (地域防災力の向上について)

討議内容 (要約)

質疑

現在、大島地区の災害時の避難所は、大島小学校となっているが、体育館の周辺はがけ崩れのおそれがあり、心配している。

また、避難所への東側の進入路が急勾配となっていて、高齢者が避難するうえで非常に危険である。さらに避難所への西側の進入路には、廃屋があつて、地震や台風の際に崩れ落ち、避難路が封鎖されたり、避難中に廃屋の倒壊に巻き込まれる可能性がある。

次に、大島は離島のため、市内からの緊急物資が輸送されるかどうか不安であり、離島において、市内からの救援物資がくるまでの間の一定の備蓄物資が必要であると思われる。

また、飲料水については小学校のプールの水が災害時に飲料水として利用可能と聞いていたが今のごった水の状態での飲料水としての利用が可能か心配である。

① 避難所を大島小学校を使用する場合、体育館ではなく、校舎にしてもらえないか。

回答

これまでの災害（主に水害）の場合、1 次的避難所は公民館となっている。地震時の場合は、小学校を避難所として指定することを考えていかなければならない。全市的に避難所、避難経路を見直して行く中で、大島の場合の避難所も検討したいと考えている。

② 避難路の急勾配の部分をなだらかになるよう道路工事をしてもらえないか。

回答

歩行者用のスロープ設置等、技術的に可能かどうか、大島小学校の避難所指定とあわせて検討する。

③ 避難路の途中にある廃屋について、安全対策をとってもらえないか。

回答

廃屋は個人の所有物であり、行政自ら撤去等の対応はしてない。（所有者への警告指導は行っている。）市の方で所有者を捜すことは可能であるが、相続の問題等があり難しい。当面の解決策は見出していない。

④ 災害時の、大島に対する備蓄物資はどのようになっているのか。備蓄物資についての対策が不十分であるならば、大島地区の地理的要因を考慮してもらい、備蓄物資を大島に置くとともに、一定期間、交通遮断されても対応できるくらいの量に増やしてもらえないか。

回答

現在、大島公民館に備蓄している。今後、増やす方向で考えて行く。

⑤ 大島小学校のプールの水は災害時に飲料水として利用できるのか。業者が居ないと対応出来ないのでは困る。

回答

年1回業者（住共エンジニアリング）が検査を行っている。プールを使用していない時期の濁った水でも問題はない。緊急造水設備の操作については、訓練・引継ぎ等、地元で対策を考えて行って欲しい。（平成19年の消防合同訓練の中で操作訓練を行っている。）

※再検討事項

なし

2. 校区設定市政課題

課題名（ 渡海線について ）

討議内容（要約）

質疑

高齢化が進展する大島にとって、渡海船は島民の足であり、生活に欠かせないものである。そのようななか、新造船が23年11月には就航することになるが、それに伴い、料金が値上げされないか不安である。

また、財政難を理由に、便数の減や始発便及び最終便の時間が変更され、さらに不便にならないか心配している。

高齢者にとって現在の時刻表は、覚えにくい時刻表である。

① 渡海船の値上げについて、どのように市は考えているのか。

回答

新造船建造に伴って利用料金の変更は考えていない。

② 渡海船の便数の減や始発便、最終便の時間の変更について、市はどのように考えているのか。

回答

1日13便の変更は考えていない。運航時間（始発便、最終便）の変更も考えていない。

③ 高齢者が記憶しやすい時刻表に改定できないか。

回答

バスの乗り継ぎ等を考慮し、調整できるものについては検討する。

※再検討事項

なし

3. 地域課題

課題名（ 害獣駆除対策について ）

質疑応答（要約）

大島においても、市内の他の地区同様に害獣対策（猪）に苦慮している。

猟友会の人たちに大島に車で渡ってきてもらい、駆除をお願いしているが、昨年度の実績で、その回数は延べ100台あまりとなっている。

猟友会には捕獲が困難なためメリットが少ない上、丁重をお願いしている関係で渡船料は農家と連合自治会が負担して賄っているが、資金的に厳しい状況にある。

そこで、駆除関係者の渡海船料金の免除をお願いできないか。

回答

狩猟のためでなく、駆除のためであることから役所内の条件整備をすれば、可能ではないかと考えている。猟友会とも協議を進めていきたい。

※再検討事項

なし

課題名（ 島内一周道路の保全について ）

質疑応答（要約）

一周道路の東側道路のがけ崩れ対策については、以前から要望しているが、早期に対策

を講じてほしい。

また、一周道路沿いの葦及び高木の枝が通行の支障となっている。

このまま漫然と放置すれば手がつけられなくなり一周出来ない道路になってしまいかねない現状にある。

この道路の除草業務は年2回（4月上旬から6月末・7月下旬から8月末）NPO法人わくわくアイランド大島が受託して行っているが、その業務とは別に葦と高木の伐採業務について、効率的に除草業務ができるよう一年を通しての委託契約にしてもらえないか。

回答

根本的な対策として、全部崖を削り落とし安定勾配をつくるとかなり大規模になる。状況を見ながら危険な所の対応をしていく。葦及び高木の伐採業務については、再度、検討させていただきたい。

※再検討事項

なし

課題名（ 農道、宮西町登り口付近、右側宮山の崖崩れについて ）

質疑応答（要約）

登り口付近の宮山の山側側壁は、長年に渡り岩石が崩落してきたため、長さ約30メートル、高さ約20メートル、奥行き約8メートルの大きな凹みが出来ている。その上部にウバメガシが密生しており、これが岩石と共に一気に崩壊する危険性がある。

この付近は終日車両が通行する主要農道のため早急に改修してほしい。

回答

農道の施設管理者である地元の大島土地改良区と協議し、施設の安全な管理と事故発生の未然防止の対策を検討していく。

※再検討事項

なし

4. その他

質疑応答（要約）

新居浜市は津波非難計画の策定をしていないが、防災計画の見直しにあわせて、是非津波非難計画を取り込んでほしい。

回答

現在は津波の想定高さが2mであり、これ以上（例えば3m）になれば考えていく必要である。これまで津波に対する意識が低かったので見直す必要がある。

質疑応答（要約）

マムシ及びスズメバチの救急対応について

回答

119番に連絡し、救急車を要請する。海上の輸送は臨時渡海船、又は救急船（新居浜市と大島連合自治会で委託契約を結び夜間の急病人やけが人を搬送する船）を利用させていただきたい。県の防災用ヘリコプターを要請することも可能です。

質疑応答（要約）

大島の西側道路（火葬場までの護岸敷部分）において、樹木が垂れ下がり通行に支障がでているので伐採してほしい。また、農道上がり口に土砂が堆積しているのを撤去してほしい。

回答

施設の所管を確認後、回答する。

（漁港施設であることが確認されましたので、農林水産課に検討をお願いしました。）